六中だより

文責
宮川英樹

人権集会を行いました

七月十一日（月）の六校時に、熱中症対策としてＰＣ室と各教室をオンラインでつなぎ、人権集会を実施しました。

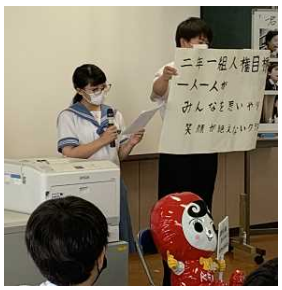
代表者が学級の人権目標を発表した後、人権擁護委員の山田様、水本様、山中様に、いじめについて考える授業を行っていただきました。特にいじめの「傍観者」についてみんなで考えました。

小学四年生から中学三年生までの六年間に、ほぼすべての児童生徒が何らかの形でいじめを経験しているというデータがあります。特に「傍観者」の立場の経験者が多く、この立場での行動がいじめの未然防止、早期解消につながってきます。

御家庭でも話題にされてください。

【学級の人権目標】

１年１組：一人一人がお互いの良いところを見つけ
人を思いやる心をもつ
１年２組：男女仲良く、誰とでも助け合えるクラス
２年１組：一人一人がみんなを思いやり
笑顔が絶えないクラス
３年１組：笑顔　男女仲良くまとまりがあるクラス



ＮＨＫ体感防災教育が実施されました

７月１３日（水）の５，６校時に、１年生を対象とした防災教室が実施されました。ＮＨＫの後藤アナウンサーと気象予報士の早田教育委員が講師をされ「高潮」を主なテーマとした授業でした。

高潮の怖さやそのメカニズム、そして、命を守るための避難をどう準備し、どう行動を起こすか、ということについてみんなで考えました。

本校の生徒たちは、カメラやマイクを向けられた中でも、しっかり自分の考えや感想等を表現できていました。

授業の様子は、後日、放映される予定です。

あとがき

先日、県中体連総体の応援に行ってきました。各地区の代表が集まる試合とあって、お互いに最後まで諦めることなく立ち向かう姿に感動しました。また、選手のプレーやコート内外での所作に、ここまで多くの努力を重ねてきたことが表れていました。そこを乗り越えた人が味わえる楽しさを、選手たちは味わっているのだなあと考えながら見ていました。

十人でトーナメントを行えば、優勝者が決まるまでに行う試合数は全部で九試合、二十人だとそれは十九試合です。つまり、トーナメントの試合数は、参加人（チーム）数マイナス一となります。

トーナメントは、最後まで負けなかった一人（チーム）を決めるまでに、一試合で一つずつ負けをつくる試合ともいえます。ですから、トーナメントで勝ち進むことは、とてもすごいことです。そして、たとえ負けたとしても、それは一回のみなのです。

次へのステップに力強く進んでほしいと思います。